

2016 年 11 月 17 日

CA Technologies、スケーリングに対応した CA Agile Central をより使いやすく、強力に

～ユーザーの管理作業時間を短縮し、より重要なタスクへの集約が可能に～
(本資料は 2016 年 11 月 16 日 CA World'16 にて米 CA が発表した情報の抄訳です)

(2016 年 11 月 16 日、ラスベガス発 — CA World '16)

CA Technologies (本社: 米国ニューヨーク州アイランディア市、CEO: マイケル・グレゴア) は、SaaS プラットフォーム専用の先進的なスケーリングに対応したアジャイル・プラクティス、[CA Agile Central](#) の最新版をリリースしました。今回、新しく追加された機能により、開発チームは戦略を素早く実行に移し、企業全体の敏しように向上させ、顧客価値を創出するまでの時間を短縮することができます。

CA の後援により Coleman Park Research 社が実施した調査によると、高度なアジャイル・プラクティス (アジャイルのスケーリングや企業全体における変革) を採用すれば、従来よりも良好な結果が得られということが明らかになりました。例えば、敏しように、成長、顧客フォーカス、運用効率などのカテゴリにおける事業への影響は 33% * 上昇したという結果が示されています。複数のチームやプログラムにまたがる作業を調整するように設計されている CA Agile Central には、今回のアップデートによってパーソナル・ナビゲーションやクイック・ディテールなどの機能が追加されました。ユーザーが日々の業務に最も関連している情報に素早くアクセスし、企業の幅広い戦略を考慮して調整するための中核的能力を維持し、企業内でのアジャイルの採用や適応をよりスピードアップさせます。

CA Technologies Agile Management 担当 ゼネラル・マネージャ Angela Tucci

スケーリングが可能なアジャイル環境で成功するためのカギは、従業員に権限を与えることです。CA が提供するツールによって、彼らは仕事を素早く効率的に行いつつ、それが事業戦略全体と統合されていることを理解できます。これまで企業は、企業対応のアジャイル・プラットフォーム、又はチーム・レベルの機能に特化した軽量ツールのどちらかの選択を常に迫られていました。しかし今後は、CA Agile Central によって両方の選択が可能となるため、企業は使いやすさを重視した機能を諦める必要はなくなるのです。

CA Agile Central はチームのハブとなり、チーム・メンバーが協働で業務の計画、優先順位設定、追跡を行います。新たに追加されたパーソナル・ナビゲーション機能は、最も頻繁にアクセスされるページを簡単に発見し使用できるようにすることで (滅多に使用されないページはバックグラウンドに移動)、ユーザーと遂行する業務との間の距離を縮めます。また、新しいクイック・ディテール機能は、ユーザーがその業務をサポートする最も重要な情報へのアクセス方法やその情報の使用方法を効率的にします。このため、ユーザーは現在作業中のページを離れることなく、そのコンテキスト内で作業項目のすべての関連詳細事項を更新することができます。また、ユーザーは自身およびチームにとって最も重要なフィールドへ簡単にアクセスできるようカスタマイズすることができます。

DigitalGlobe Geospatial Could Services 担当 リリース・トレイン・エンジニア Jen Provance 氏

タスク管理について毎週実施されるチーム会議で共有したり、個人で日々管理したりする方法を取っていますが、パーソナル・ナビゲーション機能とクイック・ディテール機能を利用することで、現在のタスクの最も重要な情報を簡単にチームで共有できます。わたしの場合、チームだけでなく主要な関係者を召集して複数の会議を行っています。そのような場合でも議論したい項目をクリックするだけで、議論の流れを切ることなく、

必要な情報を見ることができるので、とても便利です。たいいていの場合、クイック・ディテールのビューを通して質問に答えるだけで会議が進んでいきます

CA Agile Central のその他の追加機能を以下に示します。

- **拡張フィルタリング/保存ビュー:** クイック・フィルターと強力な拡張フィルターにより必要なものを簡単かつ正確に検出。ユーザーは後で簡単にアクセスできるようフィルターを保存・共有することができます。
- **ウェブフック(Webhook):** CA Agile Central でデータが変更されたときにトリガーされる軽量インテグレーションを構築。ユーザーはデータをその変化に応じてリアルタイムに取得し(自動化されたインスタント更新のように)、チーム全体でプロジェクトを追跡できます。
- **スクリプション・アプリ・カタログ:** CA Agile Central ではカスタマイズ機能が再定義され、ユーザーはカスタム・アプリを追加して、ビジネス・インサイトのレポート作成やワークフロー自動化といった機能を利用できます。

CA Agile Central を導入した企業は、市場の変化や運用上のニーズを感知、反応、適応することができるようになり、その結果として競合他社を上回る敏しょう性を得ることができます。CA World で発表されたすべてのニュースの詳細については、[CA World Online Press Room](#)をご覧ください。

※[Keeping Score: Why Digital Transformation Matters](#), Coleman Parkes Research, 調査日 2016 年 5-6 月。

参考資料

・[CA Agile Central Product Page](#)

・[CA Agile Central Product Tour](#)

・[Agile Management at CA](#)

CA Technologies について

CA Technologies (NASDAQ: CA) は、ビジネスの変革を推進するソフトウェアを提供し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスをつかめるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。CA Technologies の詳しい情報については、<http://www.ca.com/us.html> (米 CA Technologies)、<http://www.ca.com/jp> (日本)をご覧ください。また、ツイッターについては、https://twitter.com/ca_japan をご覧ください。

***本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。**

この件に関する報道機関からのお問い合わせ先:

CA Technologies

〒102-0093 東京都 千代田区平河町 2-7-9 JA 共済ビル 9 階

コーポレート・コミュニケーション部

TEL: 03-6272-8110 FAX: 03-6272-8115

e-mail: CA@pr-tocs.co.jp